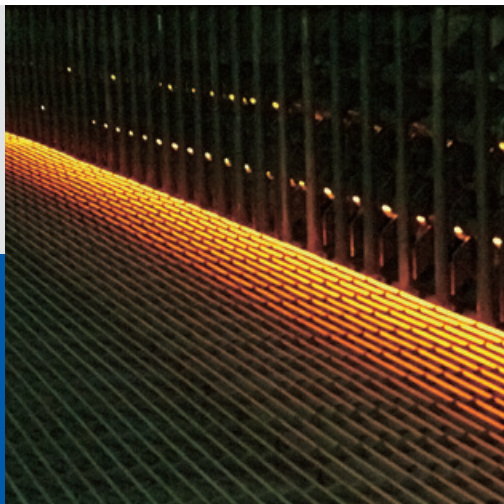




KYOEI STEEL

第73期 中間株主通信

2016年4月1日 ▶ 2016年9月30日



✠ 共英製鋼株式会社

証券コード：5440

To Our Shareholders

株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

第73期第2四半期(2016年4月1日から2016年9月30日まで)の業績につきまして、ご報告申し上げます。

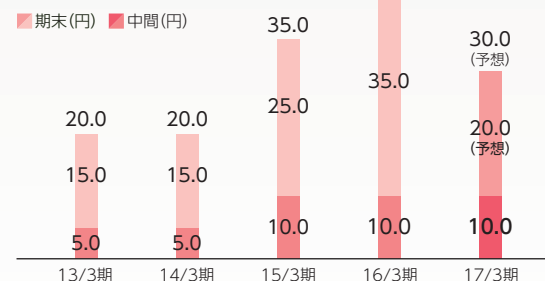
当第2四半期は、国内の建設用鋼材需要が本格的な回復に至らず厳しい状況が続きましたが、当社グループは需要に見合った生産・販売に徹し、利益の確保に努めました。海外鉄鋼事業は、経済成長が続くベトナムの旺盛な鉄鋼需要を背景に、業績を伸ばしました。その結果、連結業績は、売上高711億78百万円(前年同期対比14.6%減)、営業利益52億94百万円(同25.1%減)、経常利益52億90百万円(同27.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益30億82百万円(同31.5%減)で減収減益となりました。

なお、当期における1株当たりの中間配当は、10円とさせていただきます。

また、期末配当予想につきましては、従来通り20円とし、通期で30円を予想しております。

代表取締役社長 **もり みつひろ**
森 光廣

配当の推移

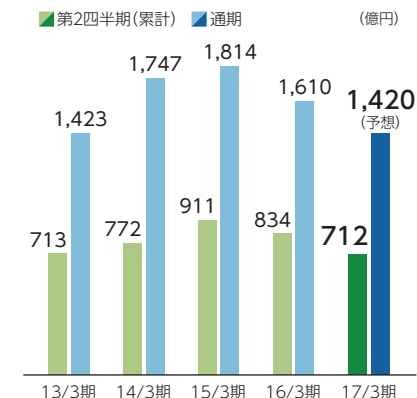


第2四半期決算ハイライト

売上高

711億78百万円

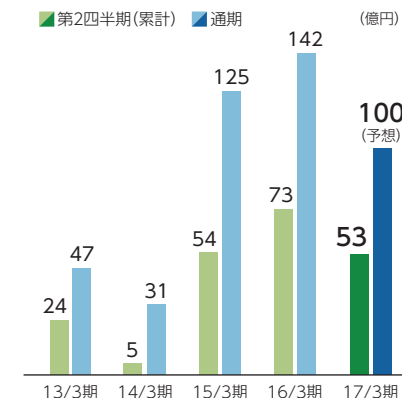
前年同期対比 **14.6% 減** ↓



経常利益

52億90百万円

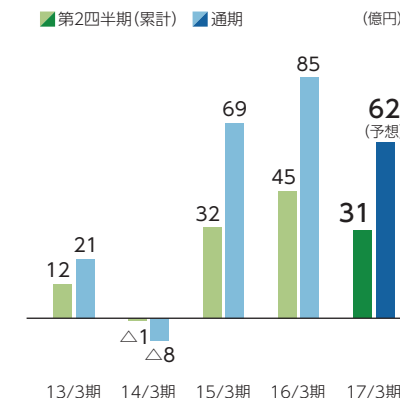
前年同期対比 **27.3% 減** ↓



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純損益

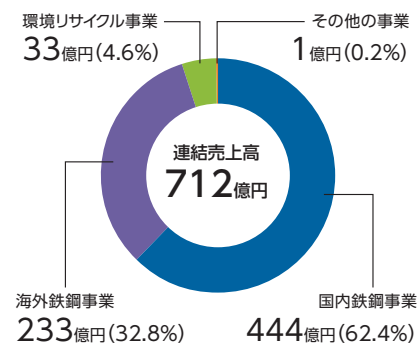
30億82百万円

前年同期対比 **31.5% 減** ↓



セグメント別業績

■ 国内鉄鋼事業 ■ 海外鉄鋼事業
■ 環境リサイクル事業 ■ その他の事業



		前第2四半期(累計)	当第2四半期(累計)	
		金額(百万円)	金額(百万円)	前年同期比(%)
国内鉄鋼事業	売上高	57,389	44,446	△22.6
	営業利益	6,024	3,940	△34.6
海外鉄鋼事業	売上高	22,349	23,326	4.4
	営業利益	766	1,476	92.8
環境リサイクル事業	売上高	3,504	3,270	△6.7
	営業利益	686	508	△26.0
その他の事業	売上高	145	136	△6.5
	営業利益	13	11	△8.9
調整額	営業利益	△419	△641	-
計	売上高	83,388	71,178	△14.6
	営業利益	7,069	5,294	△25.1

国内・海外の両輪体制を確立し、さらなる成長を目指します。



第73期(2017年3月期)上期の業績について

国内鉄鋼事業の減益を海外鉄鋼事業で一部カバーしました。

国内鉄鋼事業では、建設用鋼材需要が前期に引き続き低調に推移するなか、当社グループは需要見合いの生産・販売を徹底して製品価格の維持を図りましたが、市況は下落基調で推移し、当社グループの製品価格も前年同期対比で9.9千円下落しました。また製品出荷量は前年同期対比で0.6万トン減少し、これらの結果、減収となりました。原材料である鉄スクラップの価格は中国での需要拡大の影響から4~5月にかけて急騰し、これに合わせて製品価格の値上げに努めましたが、契約から出荷までのタイムラグにより、結果として利益の源泉となるメタルスプレッド(製品価格と原材料価格の差)が前年同期対比で6.1千円縮小し、減益となりました。一方、コスト

に関しては原油安の影響などにより電力費および重油・ガスなどのエネルギー費が大幅に減少しました。海外鉄鋼事業を展開しているベトナムにおいては、同国経済が中国経済減速の影響を受けながらも、上期(1~6月)の実質GDP成長率は5.2%と高水準を維持し、鋼材需要も前年同期対比25%増と大きく拡大しました。この旺盛な需要環境を背景に、南部拠点のビナ・キョウエイ・スチール社(VKS社)は、昨年完成した製鋼・圧延一貫ラインが計画通り稼働し、製品出荷量は前年同期対比46%増の36万トンとなりました。北部拠点のキョウエイ・スチール・ベトナム社(KSVC社)の出荷量も、同27%増の14万トンと好調でした。また、両社とも3月に暫定発動されたベトナムの緊急輸入制限措置(セーフガード)に迅速に対応して原材料である半製品(ビレット)を安価で調達したことや、その後の製品市況上昇などにより、前年同期対比大幅増益となりました。

環境リサイクル事業では、引き続き処理困難物の処理に注力するなど利益拡大への取り組みを続けましたが、電気炉による廃棄物の溶融処理を行っていた大阪工場の閉鎖(2016年3月末)等により処理量が減少したことから、前年同期対比減収減益となりました。

下期の事業環境と通期の見通しについて

国内外とも厳しい環境の下、成長戦略の実現に向けて取り組みます。

国内鉄鋼事業については、建設用鋼材需要に大きな盛り上がりは期待しづらいものの、回復の兆しが見え始めています。一方、原材料である鉄スクラップの価格は、原料炭価格急騰の影響を受けた高炉メーカーによる鉄スクラップ購入量増が見込まれることから、上昇基調になるものと思われます。当社グループでは、各工場での電力原単位(製品1トンの生産に必要な電力量)の削減を中心に一層の製造コスト削減に取り組みつつ、需要に見合った生産・販売に徹することでメタルスプレッドの維持・拡大を目指します。

海外鉄鋼事業については、ベトナムの鋼材需要は引き続き堅調に推移するものと予想されますが、7月に正式発動されたセーフガード措置の影響による原材料(半製品)市況の高止まりと、競合環境の激化に伴う製品市況下落により、下期の利益水準は低位に留まる見通しです。ただし、VKS社の新製鋼・圧延一貫ラインは年内にフル

生産体制が確立する見込みであり、今後同社の収益力向上が期待できます。

環境リサイクル事業では、10月1日付でグループ内組織再編を行い、①グループ内の営業機能集約による効率化、②戦略的な資本・業務提携の推進、③コンプライアンス・安全管理体制の強化を図り、競争力を高めます。これらを踏まえ、通期業績については、売上高1,420億円、営業利益101億円、経常利益100億円、親会社株主に帰属する当期純利益62億円を予想しております。

当社グループは今後も、3つの成長戦略——国内鉄鋼事業での勝ち残りや、海外鉄鋼事業の推進、環境リサイクル事業の拡大——の実現に向け、グループ一丸となって取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、さらなるご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。





ベトナムの継続的な鉄鋼需要拡大に対応し 新工場建設と設備改善で生産体制を強化

将来の経済的発展を見越し、当社グループがベトナムに進出したのは1994年のことです。現在、ベトナムではインフラ整備を中心に鉄鋼需要が年々拡大しており、品質の高さと「キョウエイ」ブランドを強みに、製造拠点である北部のキョウエイ・スチール・ベトナム(KSVC)社、南部のビナ・キョウエイ・スチール(VKS)社は業績を伸ばしています。



キョウエイ・スチール・ベトナム(KSVC)社

📍 Kyoei Steel Vietnam Co., Ltd.

2012年3月、ベトナム北部のニンビン省に設立した製造・販売拠点。設立以来、設備改善や製造コスト削減、長期契約による原材料の安定的な調達などに取り組み、競争力のある拠点となりました。今後の需要の伸びが期待できる北中部エリアで販売量を伸ばしています。

ビナ・キョウエイ・スチール(VKS)社

📍 Vina Kyoei Steel Ltd.

1994年1月、ベトナム南部のバリア・ブンタウ省に、棒鋼・線材の製造・販売拠点として設立。2015年6月、新たに製鋼・圧延一貫ラインの稼働を開始し、グループ内で最大規模の生産能力を有する拠点となりました。2017年のフル稼働を目指しています。

チー・バイ・インターナショナル・ポート(TVP)社

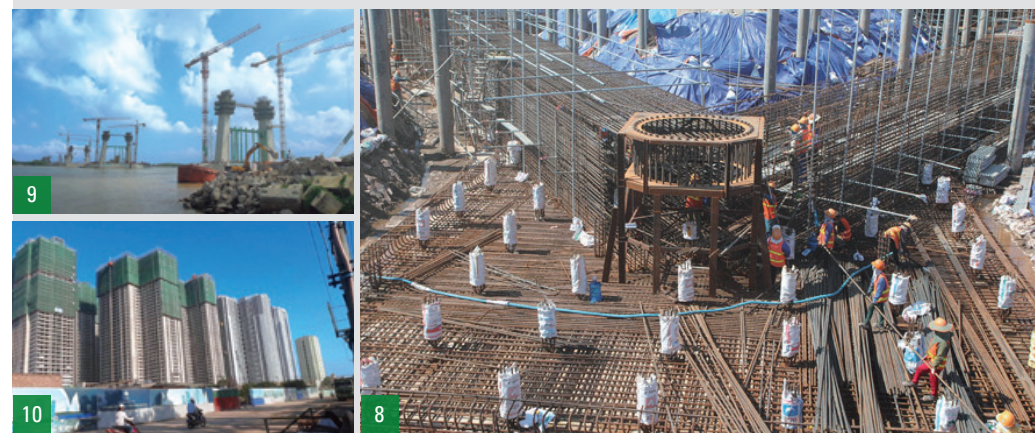
📍 Thi Vai International Port Co., Ltd.

VKS社との連携を視野に、1997年5月、VKS社に近接するバリア・ブンタウ省カイメップ・チーバイ地区に設立。多目的港湾の建設を進めており、本年末には港湾地区内にVKS社専用スクラップ倉庫が完成の予定です。



製品供給実績 ■ VKS社 ■ KSVC社

- | | |
|--|---|
| 1 ホーチミン都市鉄道(地下鉄) 1号線建設工事(高架部)
(ホーチミン/2020年完成予定) | 6 ノイバイ国際空港第2旅客ターミナル新築工事
(ハノイ/2014年完成) |
| 2 ベンルック~ロンタイン高速道路
(ベトナム南部/2018年完成予定) | 7 ラックフェン国際港建設
(ベトナム・ハイフォン/2019年完成予定) |
| 3 ネアックルン橋
(カンボジア/2015年完成) | 8 タイビン2石炭火力発電所
(ベトナム・タイビン省/2018年完成予定) |
| 4 メトロポリタンビル
(ホーチミン中心部/1997年完成) | 9 バックダン橋整備事業
(ベトナム・ハイフォン/2017年完成予定) |
| 5 シティガーデン
(ホーチミン/第1期2010年完成、第2期2018年完成予定)
※ホーチミン市内の高級マンション | 10 ゴールドマークシティ(マンションプロジェクト)
(ハノイ/2017年完成予定) |



もっと知りたい、共英製鋼 Vol.02

ネジ節鉄筋編

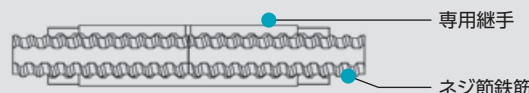
？
ネジ節鉄筋とは、どのような鉄筋ですか。

！
ネジの原理で手軽に接合できる
ネジ状の鉄筋です。

建設工事に使用される鉄筋は、コンクリートとの付着性を高めるため表面にギザギザの突起を有しています。この突起をネジ状に配したものが「ネジ節鉄筋」です。

鉄筋は、建造物の高さに応じて鉄筋を接合する(つなぐ)作業が必要であり、特に高層ビルや高速道路の橋梁など、高さのある建造物ではその作業頻度は高くなります。一般的な鉄筋では圧接や溶接などの熟練した技術が必要となりますが、ネジ節鉄筋の場合、専用継手により、容易かつ確実に鉄筋をつなぐことができます。

■ ネジ節鉄筋と継手による
鉄筋接合の基本原理
(断面図)



？
ネジ節鉄筋を使うと、どのようなメリットがありますか。

！
熟練した技術がなくても施工できるため、
作業スピードが格段に速く、工期が短縮できます。

圧接や溶接でつなぐ一般の鉄筋に対して、ネジ節鉄筋は熟練した技術がなくても容易に確実に接合できるというメリットがあります。作業スピードも格段に速く、天候に左右されずに作業できることから、工期を短縮することが可能です。また、ネジ節鉄筋であれば、工場などで予め組み立てた柱や梁などの部材を現場で接合する「先組工法」(P8の写真を参照)を用いることで、施工時の安全性やスピードもより向上します。

当社グループでは「タフネジバー」というブランドでネジ節鉄筋を製造・販売しており、高度な建築工法や複雑な設計に幅広く対応できる豊富なサイズと種類を揃えています。



？
今後、ネジ節鉄筋の需要は
どのように推移していきますか。

！
日本・ベトナムでも需要は増加の
見通しで、生産体制も万全です。

国内におけるネジ節鉄筋の需要は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた関東地区の都市再開発をはじめ、建物の超高層化、災害に強い国土強靱化の推進などに伴い、今後も増加していく見通しです。また、当社グループが事業展開しているベトナムにおいても、経済の発展に伴ってインフラ整備が急速に進み、超高層ビルの建設も増加しています。現地のグループ会社であるビナ・キョウエイ・スチール社は、2011年からネジ節鉄筋の製造・販売を行っており、2015年6月に稼働した第2圧延工場によって、増産はもとより、サイズ等のバリエーションも大幅に増え、ベトナム国内に加え周辺諸国の需要増に対応できる体制になっています。



TOPICS

環境リサイクル事業のグループ内組織再編
事業所ごとに展開していた
営業活動を集約し、迅速かつ
柔軟な対応で拡大を図ります。

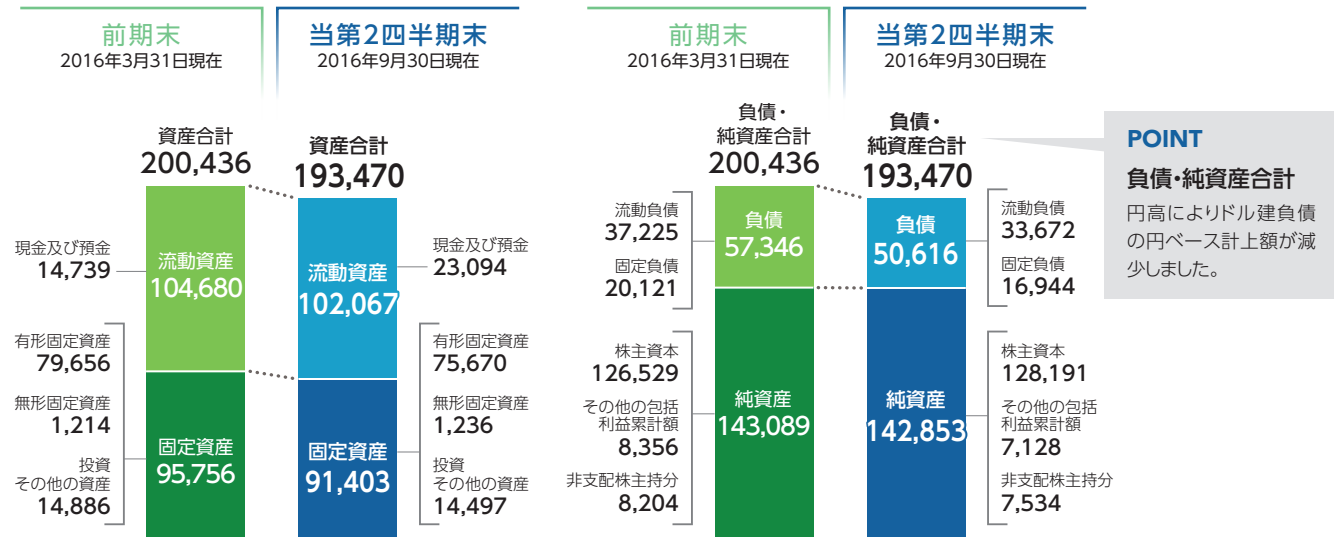
「成長戦略の3本柱」の一つである環境リサイクル事業を強化するため、2016年10月1日付で、グループ内組織再編を実施いたしました。

グループ会社の共英産業株式会社の産廃処理仲介事業を本社に集約し、さらにこれまで事業所ごとに展開していた営業活動を本社に一本化することで、グループ全体の営業力強化を図ります。また、処理施設を有する他社との業務提携・資本提携によって処理能力を拡大し、多様化する顧客の処理ニーズに幅広く対応するワンストップソリューション機能の提供を目指します。

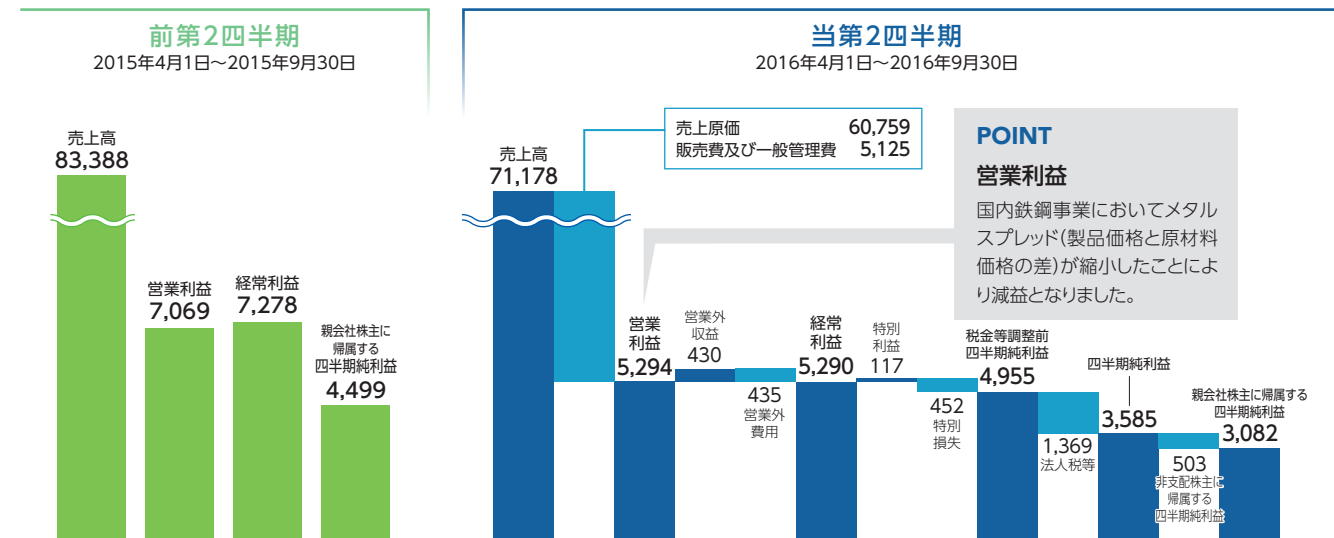
一方、産廃処理分野でのコンプライアンスへの関心が高まる中、当社としても、よりコンプライアンス・安全への注力が必要との認識から、同事業に関する監査専門部署を設置しました。コンプライアンス・安全の強化を通じてより質の高い処理プロセスを構築し、当社グループの産廃処理におけるブランド力を高めてまいります。

その一環として、産廃処理プロセスにQRコードシステムを導入しました。これは業界では画期的な取り組みであり、従来以上に高度なトレーサビリティを実現し、さらなる信頼性向上を図ります。

連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



連結損益計算書の概要 (単位:百万円)

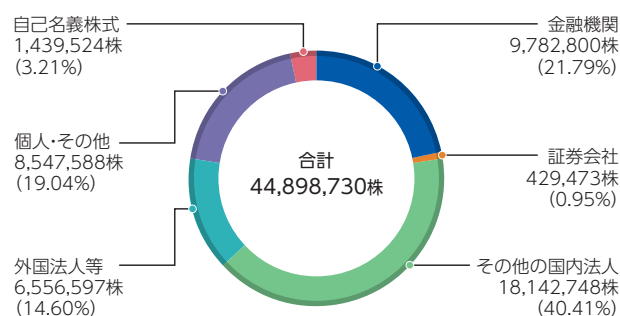


株式の状況 (2016年9月30日現在)

発行可能株式総数	150,300,000株	
発行済株式総数	44,898,730株	
株主数	2,520名	
大株主		
株主名	持株数	持株比率 ^{※1}
新日鐵住金株式会社	11,592,932株	26.68%
高島 秀一郎	4,347,460	10.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・ エア・ウォーター株式会社退職給付信託) ^{※3}	2,600,400	5.98
高島 成光	2,233,000	5.14
三井物産株式会社	1,470,000	3.38
合同製鐵株式会社	1,347,000	3.10
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,103,700	2.54
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,093,100	2.52
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・ エア・ウォーター防災株式会社退職給付信託) ^{※3}	692,000	1.59
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	621,100	1.43

※1 持株比率は、小数第3位以下を四捨五入して表示しています。
 ※2 持株比率は、自己株式(1,439,524株)を控除して計算しております。
 ※3 エア・ウォーター株式会社および同社の100%連結子会社エア・ウォーター防災株式会社が保有する当社株式を退職給付信託に拠出したものであり、議決権については両社が各々指図権を有しています。

所有者別株式分布状況 (2016年9月30日現在)



会社概要 (2016年9月30日現在)

商号	共英製鋼株式会社 (KYOEI STEEL LTD.)
設立	1947 (昭和22) 年8月21日
資本金	185億16百万円
従業員数	1,910名 (連結: 正社員)
主な事業	(1) 鋼片、各種鋼材、鉄鋼製品の製造・加工・販売 (2) 一般・産業廃棄物、医療廃棄物の収集・運搬・ 処分業および自動車リサイクル事業ならび に廃棄物再生資源化事業 (3) 鉄筋・ネジ鉄筋加工と組立工事 (4) 鉄鋼製造プラントの設計および鉄鋼製造技 術の販売
関係会社	関東スチール(株) 共英産業(株) (株)共英メソナ 共英リサイクル(株) 共英加工販売(株) ピナ・キョウエイ・スチール社 キョウエイ・スチール・ベトナム社 中山鋼業(株) 他

役員 (2016年9月30日現在)

代表取締役会長	高島 秀一郎	常勤監査役	市原 修二
代表取締役社長	森 光廣	監査役(社外)	伊藤 洋
取締役・副社長執行役員	廣富 靖以	監査役(社外)	小谷 明
取締役・専務執行役員	合六 直吉	執行役員	坂本 尚吾
取締役・常務執行役員	川崎 孝二	執行役員	北田 正宏
取締役・常務執行役員	座古 俊昌	執行役員	川井 健司
取締役・常務執行役員	大田 和義	執行役員	榎本 堅
取締役・常務執行役員	平岩 治雄	執行役員	川上 浩生
取締役・執行役員	石原 研二	執行役員	横山 政美
取締役・執行役員	秦 好夫	相談役 名誉会長	高島 成光
取締役・執行役員	鳴海 修	相談役	森田 浩二
取締役(社外)	新井 信彦		
取締役(社外)	山尾 哲也		

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	毎年6月
基準日	
定時株主総会	3月31日（その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。）
期末配当	3月31日
中間配当を行う場合	9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031
公告の方法	電子公告とします。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引市場	東京証券取引所市場第一部
証券コード	5440

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会については、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

株主優待の お知らせ

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式の投資魅力を高め、より多くの方々に当社株式を中長期的に保有していただくため、株主優待制度を実施しております。

●株主優待の内容

保有株式数	優待品
100株以上1,000株未満	クオ・カード 1,000円分
1,000株以上	クオ・カード 2,000円分

●株主様へのご発送予定日

3月31日現在の株主名簿に記載された株主様に対して、6月下旬に発送いたします。



✳ 共英製鋼株式会社

〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-16 アクア堂島西館18階

TEL 06(6346)5221 (代表)

URL <http://www.kyoeisteel.co.jp/>

